

第八十一回帝國議會 藥事法案外二件委員會會議錄(速記)第一一回

昭和十八年二月十六日(火曜日)午前十時十七分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 清水留三郎君
理事大石 齊治君 理事勝又 春一君
理事小泉 純也君 理事田中 藤作君
理事渡邊 健君

- 赤間 德壽君 逢澤 寛君
伊藤東一郎君 今牧 嘉雄君
上田 孝吉君 大島 寅吉君
木崎 爲之君 岸田 正記君
菅又 薫君 杉山元治郎君
谷原 公君 中井 一夫君
藤生安太郎君 藤本 捨助君
松本治一郎君 正木 清君
山崎 常吉君

- 出席國務大臣左ノ如シ
厚生大臣 小泉 親彦君
出席政府委員左ノ如シ
厚生次官 武井 群嗣君
厚生省衛生局長 灘尾 弘吉君
厚生省保險局長 平井 章君
厚生書記官 木村忠一郎君
厚生書記官 菊池 武夫君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
藥事法案(政府提出、貴族院送付)
船員保險法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

軍事扶助法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

第六類第十五號 藥事法案外二件委員會會議錄 第二回 昭和十八年二月十六日

○清水委員長 是ヨリ藥事法案外二件ノ委員會ヲ開會致シマス

開會ニ先ダチマシテ委員長ヨリ議事進行ニ付テ御諮リ致シタイト思ヒマス、本日ハ大臣ノ藥事法案外二件ニ付テノ御說明ヲ願ヒ、次イデ政府委員ヨリ藥事法案ニ付テノ逐條的御說明ヲ願ツテ、然ル後ニ委員各位ヨリ政府ニ要求スベキ參考資料ガアリマスルナラバ、其ノ要求ヲ願ヒ、ソレデ散會致シタイト思ヒマス、次會ハ多分明日ニナルト思ヒマスルガ、今部屋ノ關係デ交渉中デアリマス、何レ散會マデニハ決定出來ルト思ツテ居リマス、次會ヨリ藥事法案ニ付テノ質疑ニ入りマシテ、其ノ質疑應答ガ終リマシテカラ、更ニ政府委員ヨリ船員保險法中改正法律案及ビ軍事扶助法中改正法律案ノ逐條的御說明ヲ願ヒ、ソレヨリ其ノ兩案ニ對スル質疑ニ入りタイト思フノデアリマス、質疑ニ付キマシテハ、先ヅ大臣ノ列席中ニ大體ノ事項即チ法案ノ骨子ニ付テ御質問ヲ願ヒマシテ、細目ニ互リマシテハ後廻ハシニ願ヒタイト思フノデアリマス、逐條審議其ノ他細目ニ互リマシテハ、大臣ニ對スル質疑終了後、若シクハ大臣缺席ノ場合ニ、政府委員ニ御願ヒ致シタイト思ヒマス、右御諒承ヲ願ヒマス、是ヨリ大臣ノ御說明ヲ願ヒマス——小泉國務大臣

○小泉國務大臣 只今議題トナリマシタ藥

事法案ニ付テ先ヅ御說明申上ゲマス

大東亞戰爭ヲ完遂致シマス爲ニハ國民體力ノ向上、人口ノ増強ヲ圖リ、以テ國力ノ根基ニ培ヒマスコトガ喫緊ノ要務デアリマスコトハ申上ゲルマデモナイ次第デゴザイマシテ、是ガ爲ニハ國民醫療ノ適正ヲ期スルト共ニ、更ニ之ト密接ノ關係アル醫藥品ノ供給其ノ他藥事衛生ニ關シマシテモ、其ノ適正ヲ期スルノ方途ヲ講ズルコトガ、最モ肝要デアルト考ヘル次第デアリマス、政府ニ於キマシテハ夙ニ醫藥品ノ生産配給等ニ關シマシテ、各般ノ施策ヲ講ジ、銳意遺憾ナキヲ期シテ居ル次第デアリマスガ、翻ツテ藥事ニ關スル諸制度ヲ見マスルニ、創始以來既ニ相當ノ歲月ヲ閱シ、現下時局ノ要請ニ副ハナイ憾ミガ少クナイノデアリマス、即チ醫藥品ノ供給確保ニ關スル當面ノ措置ヲ講ズル上ニ於キマシテモ、十分ノ成果ヲ期スルコトガ困難ナル狀況デアリマスルノミナラズ、藥劑師及ビ藥劑師會ノ保健衛生上ニ於ケル國策即應ノ活潑ナル活動ヲ促スト共ニ、積極的ニ醫藥品供給ノ適正ヲ期シ、以テ國民體力ノ向上ニ寄與スル上ニ更ニ一步ヲ進メントスルニハ、是ガ現狀ハ誠ニ遺憾ナルモノガアルト言ハネバナラヌノデアリマス、仍テ茲ニ藥事制度ニ付キ所要ノ改善整備ヲ加ヘマシテ、藥事法ヲ制定シ、以テ所期ノ目的達成ニ萬遺憾ナキヲ期セントスル次第デアリマス

付託議案

藥事法案(政府提出、貴族院送付)(第二三號)
船員保險法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第六四號)
軍事扶助法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第六五號)

先ヅ最初ニ本案ノ骨子ト致シマスル所ヲ申上ゲマス、醫藥品ノ供給其ノ他藥事衛生ニ關シマシテハ、現在藥劑師法、藥品營業並藥品取扱規則、賣藥法等ガ存スルノデアリマスガ、本案ニ於キマシテハ、此ノ法律ガ藥事衛生ノ適正ヲ期シ、以テ國民體力ノ向上ヲ圖ルコトヲ目的トスルモノナルコトヲ明カニ致シマスル共ニ、一面ニ於キマシテ、藥事衛生ニ關スル人的並ニ物的要素ニ關スル制度ヲ一貫シテ趣意ノ下ニ綜合統一セラレタルモノトスルコトトシ、又他面ニ於キマシテハ、從來醫藥品ニ付キマシテハ、何レノ藥局方ニモ記載セザル藥品又ハ製劑、即チ所謂新藥新製劑、賣藥等ノ區別ガナサレテ居タノデアリマスガ、所謂新藥新製劑ト賣藥トノ間ニ劃然タル區別ヲスルコトハ實際上困難デアルバカリデナク、徒ラニ取扱ヲ煩瑣ニスルノミデ、現在デハ大シク意味モナイト考ヘラレマスノデ、此ノ際法制上ニ於ケル新藥新製劑、賣藥等ノ區別ヲ廢シマシテ總テ日本藥局方外醫藥品トシテ取扱ヲ一元化スルコトト致シマシテ、是等ニ關スル現行ノ諸法律ノ内容ヲ統合規定スルト共ニ、其ノ内容ニ付キマシテモ所要ノ改正ヲ行ヒ、又新タニ必要ナル事項ヲ規定セルコトデアリマス、以下法案ノ内容ニ付概略ノ御說明ヲ致シマス

先ヅ藥劑師ニ關シマシテハ、其ノ本分ヲ明定致シマシテ、調劑、醫藥品ノ供

給其ノ他藥事衛生ヲ掌リ、以テ國民體力ノ増強ニ寄與スルト云フ時局下極メテ重要ナル國家的任務ヲ負フモノナルコトヲ明カニ致シマスト共ニ、藥劑師ニ對シ醫藥品ノ取扱其ノ他藥事衛生ニ關シ必要ナル事項ノ修習ヲナサシメ得ルノ途ヲ開キマシテ、以テ益勵精其ノ職責ヲ全ウセシメンコトヲ期シ、各、其ノ規定ヲ設クルコトト致シマシタ、又藥劑師會ニ付キマシテハ、藥事衛生ニ關シ今後一層其ノ積極的且ツ適正ナル活動ヲ期待センガ爲メ、其ノ國民體力ノ向上ニ關スル國策ヘノ協力ニ付テノ使命ヲ明カニスルト共ニ、會員範圍其ノ他ニ付キ必要ナル改正ヲ行フコトト致シマシタ、次ニ藥局ニ關シマシテハ、其ノ保健衛生上ニ於ケル使命ニ鑑ミマシテ、設備、管理、分布等ヲ適正ナラシムルノ方途ヲ講ズルノ肝要ナルヲ認メマシテ、其ノ開設ヲ藥劑師以外ノ者ニモ認メルコトトシ、且ツ現在ノ届出制ヲ改メマシテ、許可制トシ、又調劑報酬ニ付キマシテハ、其ノ適正ヲ圖ル爲メ必要ナル方策ヲ講ジ得ベキ規定ヲ設ケルコトト致シマシタ

次ニ醫藥品ニ關シマシテハ、其ノ國民保健上ニ於ケル極メテ重要ナル物資ナルニ鑑ミ、其ノ供給ノ適正ヲ圖ル爲メ、概ネ次ノヤウナ改正ヲ加ヘマシタ、即チ醫藥品ノ製造ニ付キマシテハ、從來製藥者免許、賣藥免許、新藥新製劑ノ届出等、極メテ複雑ニナツテ居ルノデアリマスガ、之ヲ醫藥品ノ製造業ニ付キ原則トシテ許可ヲ受ケシムルコトトシ、製造ノ品目、製造ノ設備、生産計畫トノ照應等ニ付キ檢討ヲ加ヘ、其ノ適正ヲ期スルコトト致シマスト共ニ、現在ノ複雜ナル各種ノ免許、許可等ヲ統一單純化スルコトトシ、又醫藥品ノ性状品質ヲ適正ナラシムル爲メ、醫藥品製造業ニ付テハ、原則トシテ藥劑師ヲ置クベキコトト致シマシタ、尙ホ輸入販賣業及ビ移入販賣業ニ付キマシテハ、一般醫藥品ノ販賣業ト異ル所ガアリマスノデ、製造業ニ準ジ措置スルコトト致シマシタ、又醫藥品ノ販賣ニ付キマシテハ、從來藥種商ノ免許、賣藥請負營業ノ許可等極メテ錯雜シタ制度トナツテ居ルノデアリマスガ、販賣者ノ資質、店舗ノ分布等ノ關係ヲ考慮スルト共ニ、手續ヲ簡明化スルノ必要ヲ認メマシテ、醫藥品販賣業ニ付キ、原則トシテ許可ヲ受ケシムルコトト致シマシタ、尙ホ醫藥品ノ中ニハ、其ノ取扱ニ付キ特殊ノ知識ヲ必要トスルモノモ少クナイノデ、藥劑師又ハ藥劑師ヲ使用スル者以外ノ醫藥品販賣業者ニ付キマシテハ、取扱品目ノ制限ヲナスコトト致シタノデアリマス、更ニ醫藥品ノ成分等ヲ公示セシムルコトトシ、其ノ選擇及ビ使用ノ適正、配給ノ圓滑ヲ期スル上ニ於テ、又品質確保ノ上ニ於テ必要ト認メラレマスノデ、之ニ關スル規定ヲ設ケルコトト致シマシタ、又醫藥品ノ廣告ニ付キマシテハ、相當ニ改善ヲ加ヘル必要ガ認メラレマスノデ、從來ノ賣藥ニ該當スルモノノミナラズ、其ノ他ノモノニ付キマシテモ、均シク、是ガ制限ノ方途ヲ講ジ、且ツ其ノ内容適正ナラシムルヤウ、之ニ關スル規定ヲ設ケルコトト致シマシタ、其ノ他保健衛生上特ニ必要ト認ムル醫藥品ニ付キマシテ、價格ノ公正及ビ性状品質ノ適正ヲ圖ル爲メ必要ナル措置ヲ講ジ得ルコトトシ、又保健衛生上特ニ必要アリト認メラルル場合ニハ、製造業者、販賣業者等ニ對シマシテ、其ノ業務ニ關シ必要ナル指示ヲナンシ得

ルノ途ヲ開クコトト致シマシタ、最後ニ既存ノ藥局開設者並ニ醫藥品ノ製造業者、輸入販賣業者、移入販賣業者及ビ販賣業者ニ付キマシテハ、其ノ業務ヲ繼續スルヲ得セシムルコトト致シタ次第デアリマス、以上藥事法案ノ内容ニ付キ大要ノ御説明ヲ申上ガタノデアリマスガ、何卒御審議ノ上速カニ協贊アラント切望致シマス

次ニ船員保險法中改正法律案ニ付キマシテ御説明申上ゲマス、改正ノ第一點ハ、現在船員ノ乗船中ノ傷病ニ關シマシテハ、原則トシテ船員法ニ依ル船舶所有者ノ三月間ノ扶助又ハ手當ノ終ツタ後船員保險ニ於テ六月間療養ノ給付及ビ傷病手當金ヲ支給スルコトトナツテ居リマス、然ルニ時局下船員ノ傷病ハ激増ノ傾向ガアリ、隨テ船舶所有者ノ負擔モ容易デアリマセヌ爲ニ、船員ハ往々其ノ保護ニ浴シ得ナイ場合モ起リ易イノデアリマス、更ニ現在船員保險ニ於テ給付ヲ開始スルニ付キマシテモ必然的ニ船舶所有者ノ扶助、手當ノ義務ヲ有無又ハ其ノ終了シタルカ否カラ調査スルコトヲ要シマシテ、保護ノ迅速ヲ缺ク憾ミナシトシナイノデアリマス、仍テ今回船舶所有者ノ船員法ニ基ク扶助、手當ノ義務ヲ船員保險ニ取入レ保險給付トシテ之ヲナシ、船員ノ保護ヲ一元化シ、以テ船員ノ傷病ニ對スル保護ヲ充實確保スルト共ニ其ノ簡便迅速ヲ期セントスルノデアリマス、而シテ船舶所有者ノ扶助、又ハ手當ノ支給期間即チ三月ヲ保險ニ取入レマス結果、保險給付期間ハ從來ノ六月ヲ九月ト改メルコトト相成ルノデアリマス、是ハ船舶所有者ノ船員法ニ依ル扶助義務ヲ取入レナガラ給付期間ヲ從來通り健康保險ト同様ノ六月間ト致スコトトハ却テ

船員ノ保護ヲ薄クスル結果トナルノミナラズ、船員ノ傷病ノ長期性ニ鑑ミテモ、保險給付期間ヲ九月トスルコトトガ適當デアルト考ヘラレルカラデアリマス、御參考マデニ財源ノ點ヲ申シマスト、今回ノ改正ハ船舶所有者ノ從來カラ存スル扶助義務ヲ取入レルノデアリマスカラ、其ノ費用ノ全部ヲ船舶所有者ノ負擔トシ、保險料トシテ徴收スルノデアリマシテ、大體船員ノ報酬月額百圓ニ付キ二圓程度ノ増徴トナル見込デアリマス

改正ノ第二點ハ戰時危險區域ヲ航行スル船舶ニ乗組ム船員ハ、實ニ其ノ勞苦大デアリ、心身ノ疲勞亦甚ダシキモノガアリマスカラ、是等ニ對スル養老年金、廢疾年金、廢疾手當金及ビ死亡手當金ノ支給條件タル被保險者タル期間ニ一定割合ノ加算ヲ附サウトスルノデアリマス、即チ現在養老年金ニ付テハ十五年以上、廢疾年金、廢疾手當金及ビ死亡手當金ニ付テハ、三年以上被保險者デナケレバナラナイト云フ條件ガ付イテ居リマスガ、今回ノ改正ノ結果、加算ニ依リ是等ノ期間ガ短縮セラレルコトトナリ、從來ヨリモ早く本制度ニ依ル保護ヲ受ケラレルコトトナリマス外、養老年金及ビ廢疾年金ニアリマシテハ、被保險者タル期間十五年以上一年ヲ増ス毎ニ、年金額ニ一定率ノ加給ヲナスコトトナツテ居リマスカラ、今回ノ改正ノ結果從來ニ比シ支給額モ増加スルコトトナリ、保護ヲ厚クスルコトトモナル譯デアリマス、條文中「勅令ヲ以テ指定スル區域」トアリマスノハ、現下ノ海運ノ情勢上、可及的廣ク認メタイト考ヘテ居リマス、併シ其ノ區域内ヲ航行スル船舶デモ、比較的安全ト認メラレル航路ヲ取ル船舶ニ付テハ、事實上加算ノ要ガナイ譯デアリマ

スカラ、是等ノ船舶ハ特ニ指定シテ加算ヲ認メナイコトニ致シタイト思ツテ居リマス、次ニ加算ノ率ニ付キマシテハ、今ノ所被保險者期間、即チ乗船期間ノ三分ノ一ニ相當スル期間ヲ加ヘタイノデアリマス、是ハ船員ノ現在ノ活動狀況ヨリスレバ必ズシモ十分ハ考ヘテ居リマセヌガ、國家財政等ノ關係モアリマスノデ、先ヅ此ノ程度ト考ヘテ居ル次第デアリマス、尙ホ此ノ加算ニ依リ増加スベキ保險給付ノ費用ハ、全額國庫ニ於テ負擔スルコト致シテ居リマス、次ニ加算ヲ認ムベキ期間ハ、一昨年十二月八日大東亞戰爭勃發ノ時ヨリト致ス考ヘデアリマス

改正ノ第三點ハ結核ニ對スル保護ヲ厚クシタ點デアリマス、即チ現在ハ保險給付開始前一年内ニ六月以上繼續シテ被保險者デアツタ場合ニ限り、結核性疾患ニ付テハ特ニ一年、繼續シテ、療養ノ給付及ビ傷病手当金ノ支給ヲナスコトニナツテ居リマスガ、六月以上モ繼續シテ被保險者デアルト云フコトヲ資格條件ト致シマスコトハ、現下ノ船員ノ勤務狀況カラ見マシテモ實狀ニ副ハナイ嫌ヒガアリ、又船員ノ結核性疾患ノ増加乃至ハ我が國結核撲滅對策カラ考ヘマシテモ穩當デナイト思ヒマスノデ、此ノ條件ヲ緩和シテ大體一年間ニ三月間被保險者デアレバ宜イト云フヤウニ其ノ受給條件ヲ緩和シタイト考ヘテ居リマス

改正ノ第四點ハ福祉施設ニ關スル規定ヲ設ケマシテ是ガ充實ノ方策ヲ講ジ、船員ノ健康及ビ福祉ノ保持増進ヲ圖ルト共ニ、昨年改正セラレマシタ健康保險ニ應ジテ必要ナル規定ノ改正増補ヲナシ、以テ船員保險延イテハ社會保險全般ノ圓滑ナル運営ニ資セントスルノデアリマス、之ヲ要スルニ帝國船員ハ御承

知ノ通り戰時下幾多ノ危險ニ曝サレマシテ、晝夜ヲ分タズ激務ニ服シ挺身海上輸送ノ任ニ當リツツアルノデアリマシテ、其ノ勞苦ハ極メテ大ナルモノガアリマス、仍ツテ船員保護施設ノ一翼ヲ擔ヘル船員保險法中ニ改正ヲ加ヘ、時局ニ即應シ船員ノ保護ノ充實強化ヲ圖ルコトト致シタノデアリマス

最後ニ軍事扶助法中改正法律案ニ付キマシテ御說明申上ゲマス、本法ハ兵役ノ義務ニ服スル者ヲシテ後顧ノ憂ナク安ジテ其ノ責務ヲ全ウセシムルノ趣旨ヲ以テ大正六年ニ制定セラレ、翌大正七年一月ヨリ施行セラレマシタ軍事救護法ガ、其ノ後昭和六年ニ至リ一部改正セラレ、更ニ昭和十二年ニ至リ其ノ名稱ヲ軍事扶助法ト改メラレルト共ニ、其ノ適用範圍ヲ擴張其ノ他ニ付キ改正ヲ加ヘラレ、同年七月ヨリ施行セラレ今日ニ至ツタノデアリマス、而シテ時恰モ支那事變ノ勃發ニ會ヒ、爾來今日ニ至ルマデ本法ノ趣旨ハ相當徹底ヲ見、隨テ又相當ノ實績ヲ收メテ參ツタノデアリマス、併シテ今下點ガ認メラレルノデアリマス、尙ホ不十分テ今回其ノ適用範圍ヲ擴張シ、大東亞戰爭下愈々軍人援護ノ徹底ヲ期シタイト存ジ、茲ニ本改正法律案ヲ提出スルニ至ツタ次第デアリマス

今回改正致シタイト存ジマス事項ハ三項目デアリマス、第一ハ傷病兵ノ範圍ヲ擴張スルコトデアリマス、現行法ニ於ケル「傷病兵」ノ範圍ハ、戰鬪若ハ公務ノ爲又ハ故意若ハ重大ナル過失ニ因ルニ非ラズシテ、現役中若ハ應召中ニ傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ、是ガ爲メ一種以上ノ兵役ヲ免ゼラレタル者ニ限ラレテ居ルノデアリマスガ、近時

兵員充足ノ要増大スルニ伴ヒ、兵役法施行令及ビ陸軍身體檢査規則ノ改正ヲ見ルニ至リ、徵兵ノ場合ニ於テハ身體上輕度ノ障礙ヲ有スル者ト雖モ之ヲ合格セシムルコトト相成リ、是ト對應シ、從來一種以上ノ兵役ヲ免ゼラレタル程度ノ障礙ヲ有スルニ至ツタ者ト雖モ、直チニ一種以上ノ兵役ヲ免ゼラルルニ至ラズ、現役滿期トシテ退營シ、又ハ其ノ役種ノ儘召集解除トナル者ガ相當數ニ上ル狀況デアリマシテ、從前ナラバ扶助セラレベキ者ガ扶助ニ漏レルコトトナリマシタノデ、之ヲ救フ爲メ一種以上ノ兵役ヲ免ゼラレザルモ退營シ、又ハ召集解除トナツタ者デ、恩給法上ノ目症程度以上ノ傷病ヲ有スル者ヲ傷痍兵トシ、本人及ビ其ノ家族遺族ヲ扶助スルコトニ致サウトスルノデアリマス

第二ハ現役下士官ノ家族ヲモ扶助ノ範圍ニ加ヘルコトデアリマス、現行法ニ於ケル「下士官ノ家族」ノ範圍ハ「現役兵及應召下士官ノ家族」ニ限定シ、現役下士官ノ家族ハ之ヲ包含セザルコトト致シテ居ルノデアリマスガ、支那事變勃發以來下士官要員ガ増大致シマシタ爲メ、志願ニ依ラザル現役下士官ノ數ガ増加シ、又志願ニ依ル下士官ト雖モ其ノ志願ハ職トシテ下士官タラントスルニアルヨリハ寧ロ兵役義務履行ノ意思ニ依ルモノト認ムベキモノ多ク、尙ホ下士官ノ俸給ハ其ノ營内居住ヲ原則トシテ定メラレテ居ルコトカラ致シマシテ、家族ト共ニ其ノ生活ヲ保障スルノ趣旨デハナイノデアリマシテ、是等ノ現役下士官ノ家族ニシテ生活困難ナル者アラバ之ニ對シ扶助スルハ安當ノ措置ト認メラレマスノデ、現役下士官ノ家族ヲモ扶助ノ範圍ニ加ヘルコトニ致サ

ウトスルノデアリマス

第三ハ下士官兵ノ家族ニ對スル扶助ハ必要ナル場合ニ於キマシテハ退營又ハ召集解除後尙ホ三月以内ノヲ繼續シ得ルモノト致スコトデアリマス、現行法ニ於テハ、下士官兵ノ家族ニ對スル扶助ハ、必要ナル場合ハ退營又ハ召集解除後二十日以内ノヲ繼續シ得ルコトト相成ツテ居ルノデアリマスガ、近時ノ經濟狀況ニ鑑ミ、又作戰區域ノ擴大、服役期間ノ長期化等ニ伴ヒマシテ、退營シ又ハ召集解除トナリマシタ者ガ歸郷後直チニ十分ナル生業能力ヲ發揮スルコトハ極メテ困難デアリマシテ、就中頓ニ増大スル潜伏性疾患者、例ヘバ結核、「マラリヤ」等ノ如キモノハ假令疾病治癒ノ後退營シ又ハ召集解除トナリマシテモ、直チニ生業ニ復歸スルコトハ困難デアリ、且ツ疾病再發ノ虞ガ極メテ多ク現狀ニ鑑ミマシテ、相當期間ノ休養ヲ要スルノデアリマス、又退營、召集解除後直チニ生業ニ從事シ得ル者ト雖モ、現地ニ於テ除隊セラレル者ノ如キハ其ノ家族ヲ扶養シ得ルニ相當期間ヲ要スルノデアリマシテ、是等ノ理由ニ依リマシテ從來ノ二十日以内ノ期間ヲ三月以内ト改ムルコトニ致サウトスルノデアリマス

以上改正ノ要旨ニ付キ申上ゲタノデアリマスガ、何卒御審議ノ上速カニ御協賛アラシコトヲ切望致ス次第デアリマス

○清水委員長 是ヨリ政府委員ヨリ藥事法案ニ對スル逐條的ノ御說明ヲ願ヒマス

○難尾政府委員 藥事法案ノ根本ノ趣旨、或ハ其ノ骨子ニ付キマシテハ只今大臣ヨリ御說明申上ゲマシタ通りデゴザイマスガ、私カラ法案ノ内容ニ付キマシテ逐條的ニ概略ノ御說明ヲ申上ゲタイト存ジマス、

其ノ前ニ御諒承願フテ置キタイト存ジマスルコトハ、此ノ法律案ハ現在藥事ノ制度トシテ行ハレテ居リマスル藥劑師法、藥品營業並ニ藥品取扱規則及ビ賣藥法、斯樣ナ法律ヲ統合整理致シマシテ、更ニ本案提出ノ根本ノ趣旨ヲ達成致シマスル爲ニ必要ナル諸規定ヲ新タニ加ヘマシタ次第デアリマス、尙又現在ノ制度ハ相當古イ制度トナツテ居リマスルノデ、其ノ間諸規定ノ中ニハ、今日行ハレテ居リマスル多クノ立法例ノ體裁ト其ノ趣キヲ異ニシテ居ルモノモゴザイマスルノデ、ソレ等ニ付キマシテモ大體近頃ノ立法例ニ倣ヒマシテ、規定ノ體裁ヲ整ヘ、又現在法律中ニ規定ノアリマスル事項ニ付キマシテモ、事柄ガ細目ニ互ツテ居リマシテ、命令ニ讓ルノヲ適當ト認メマスルヤウナモノニ付キマシテハ命令ニ讓ルコトニ致シテ居ルノデアリマス、殊ニ此ノ法律案ト極メテ密接ナ關聯ノアリマスル最近ノ制定ニ係ハリマスル國民醫事法ノ規定ト大體歩調ヲ揃ヘルト云フヤウナコトモ致シタノデアリマス、豫メ御含ミ置キテ願ヒタイト存ジマス

以下條文ヲ逐ヒマシテ御説明ヲ申上ゲタイト思ヒマス、第一條ハ本法ノ目的ヲ規定致シタモノデアリマシテ、此ノ法律ハ國民醫事法ト密接ノ關係ニ立チ、是ト相並ンデ國民保健ニ關スル一ツノ基礎的ナ法制タルベキモノト考ヘマシテ、國民醫事法ガ國民醫事法ノ部面ヲ規定スルニ對シ、此ノ法律案デハ藥事衛生ノ部面ヲ規定致シテ居ルノデアリマスケレドモ、等シク國民體力ノ向上ヲ圖ルト云フコトヲ根本ノ目的トシテ居ルト云フ點ヲ明カニ致シタノデアリマス

次ハ第二章ノ藥劑師ニ關スル規定デアリ

マス、第二條ハ新タニ設ケマシタ規定デゴザイマシテ藥劑師ノ本分ヲ規定致シタモノデアリマス、現在ノ藥劑師法ノ規定ノ文字カラ見マシテ、藥劑師ノ本來ノ職分ハ專ラ調劑ノミニ存スルカノ如キ考ヘ方ガ世上ニ行ハレテ居ル嫌ヒガナイデハナイノデアリマス、今日藥劑師ノ職分ハ獨リ調劑ノミナラズ、廣ク醫藥品ノ供給、或ハ飲食物ノ検査ト云フヤウナ衛生化學ノ部面、更ニ又近頃デハ毒瓦斯ノ檢知トカ或ハ其ノ處理ト云フヤウナ部面ニモ互リマシテ、所謂衛生化學者トシテ國民保健ノ廣汎ナル分野ヲ擔當スベキモノト考ヘラレルノデアリマス、此ノ實情ニ即シマシテ、藥劑師ハ是等ノ廣イ範圍ニ互リ國民保健ノ一分野ヲ擔當致シマシテ、醫師、齒科醫師等ト相携ヘテ國民體力ノ保全、増強ニ寄與スルト云フ極メテ重要ナ任務ヲ負フモノデアアルコトヲ明カニ致シマシテ、其ノ職責ノ極メテ重イコトヲ自覺セシメ、益、勵精其ノ職域ニ於テ奉公センコトヲ期待致シマシタ次第デアリマス、第三條ハ藥劑師免許ヲ受ケル資格ニ關シ必要ナ事項ハ勅令ヲ以テ規定スルコトト致シタノデアリマスガ、勅令ノ定メマスル事項ハ大體現行法通リト致ス考ヘデアリマス、第四條、第五條ハ字句ヲ若干修正致シマシタル外ハ現行法通リデアリマスノデ説明ヲ省略致シマス、第六條ハ藥劑師名簿ノ登錄ニ付テ規定致シタモノデアリマスルガ、登錄スベキ事項ニ付キマシテハ大體現行法通リト致ス考ヘデアリマス、第七條ハ藥劑師ノ免許ノ取消又ハ業務ノ停止處分ニ關スル規定デアリマシテ、概ネ現行法ヲ踏襲致シテ居ルノデアリマスルガ、特ニ變ツテ居ル點ヲ申上ゲマスレバ、先ヅ藥劑師タルノ品位

ヲ損スル行爲ヲ免許ノ取消又ハ業務停止處分ノ事由ノ中ニ加ヘタノデアリマス、又免許ノ取消又ハ業務ノ停止處分ノ事由タル事實ガ免許前ニアツタコトデアリマシタ場合ニ於テモ、免許ノ取消又ハ業務停止處分ヲスルコトガ出來ルト云フコトニ致シタノデアリマス、ソレカラ免許取消處分ヲ受ケタモノデ再免許ヲ受ケマシタモノガ主務大臣ノ定メマスル期間内ニ於テ一定ノ刑罰ニ處セラレマシタ時ハ、其ノ再免許ハ當然效力ヲ失フコトト致シタノデアリマス、尙又藥劑師ニ對スル行政處分ヲ致ス場合ニ於キマシテ、從來ハ中央衛生會ノ審議ヲ經ルコトトナツテ居ツタノデアリマスガ、此ノ法案ニ於キマシテハ中央衛生會ノ審議ヲ要スルト云フコトヲ削除致シタノデアリマス、是等ハ國民醫事法ノ規定ト大體同様ノ趣旨ニ出タモノデアリマスノデ、説明ヲ省略サセテ戴キタイト存ジマス、次ニ第八條ハ新シイ規定デアリマスガ、藥劑師ニ對シ主務大臣ニ於テ補習教育ノ義務ヲ課シ得ルコトヲ規定致シタノデアリマス、ト申シマスルノハ、先程申シマシタ如ク、藥劑師ハ國民保健上廣汎ニシテ且ツ重大ナル職責ヲ荷ヒ、又其ノ職分ガ人ノ健康、生命ニ關スルコトガ多イノデアリマスルノデ、常ニ自己ノ職分ニ於テ研鑽ヲ怠ラナイヤウニシテ貫ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、醫藥ノコトハ日進月歩デアリマスルノミナラズ、國防化學ニ關スル事項ノ如キ、マダ十分之ニ習熟スルニ至ツテ居ナイ者モアリマスルノデ、斯樣ナ規定ヲ設ケマシテ、藥劑師ノ職域奉公ノ一層ノ完璧ヲ期スルヤウニ致シタ次第デアリマス

ス、藥劑師會ニ關シマシテハ、大體醫師會及ビ齒科醫師會ノ例ニ準ジマシテ措置致スコトトシテ居ルノデアリマシテ、從來ト變リマシタ點ヲ申上ゲテ見マスルト、第九條ニアリマスル如ク、藥劑師會ニ付キ從來ハ藥事衛生ノ改良發達ヲ圖ルコトヲ以テ目的トスルコトニナツテ居ルノデアリマスルガ、此ノ案ニ於キマシテハ、ソレニ對シマシテ國民體力ノ向上ニ關スル國策ニ協力スルヲ以テ目的トスルコトヲ新タニ附ケ加ヘマシテ、現下ノ時局ニ於ケル藥劑師會ノ本來ノ使命ヲ明カニ致シタノデアリマス、又第十條ニ於キマシテ、會員ノ範圍ヲ從來ヨリモ擴張スルコトニ致シタノデアリマス、即チ藥局トカ醫藥品ノ製造販賣業ニ從事スル藥劑師ハ勿論ノコト、苟モ藥劑師ノ資格アル者ニ對シテハ總テ之ヲ會員トスルコトトシ又現ニ藥劑師ノ免許ヲ持ツテ居リマセヌ者デモ、藥劑師ノ免許ヲ受ケル資格ヲ有スル者ハ、之ヲ道府縣藥劑師會ノ會員タラシメルノ途ヲ開キマシタ、斯樣ニ致シマシテ、藥劑師乃至ハ藥劑師ニナリ得ル凡ユル分野ノ人達ガ相寄り相集ツテ藥劑師會ヲ組織シテ、ソレノ職分ヲ發揮致シマシテ、藥事衛生ニ關スル公ノ使命ヲ完遂スルト云フ體制ヲ執ルコトト致シタノデアリマス、ソレカラ從來ハ日本藥劑師會ハ任意設立デアツタノデアリマスガ、藥劑師會ノ使命ニ鑑ミマシテ、中央ニ強力ナル藥劑師會ヲ設立スル必要ガアルト考ヘマシテ、第十一條ニ規定シテアリマスルガ如ク、日本藥劑師會ヲ強制設立ト致シタノデアリマス、其ノ他ノ點ハ特ニ申上ゲル必要モナイカト存ズルノデアリマス

次ニ第四章ハ藥局及ビ調劑ニ關スル事項

デアリマス、第十四條ハ藥局ノ開設ニ關スル規定デアリマシテ、即チ藥局開設ニハ地方長官ノ許可ヲ受ケルコトヲ要スルコトトシ、又藥局ノ開設者ハ從來原則トシテ藥劑師ニ限ラレテ居ツタモノヲ、藥劑師ニ限定シナイコトニ致シタノデアリマス、藥局ハ藥事衛生ニ關シマシテ一般民衆ノ利用ニ供セラレル重要ナ機關デアリマスノゾ、其ノ設備管理等ニ付キ適正ヲ期スル必要ガアリマスルコトハ申スマデモナク、又其ノ分布ノ狀況ハドテラカト言ヘバ從來都市偏在ノ傾向ガ著シイノデアリマス、譬ヘテ申シマスレバ、六大都市所在府縣ノ藥局數ガ全國藥局數ノ五三%ニ達シテ居ルノデアリマス、又東京府及ビ大阪府ノ藥局數ハ全國ノ藥局總數ノ三二%ニ達スル云フヤウナ狀況デゴザイマシテ、斯様ナ狀態ハ國民保健上相當考ヘナケレバナラヌ點デアルト思ヒマスノゾ、將來是ガ是正ヲ圖ルノ方途ヲ講ズルコトモ必要デアラウト存ズルノデアリマス、隨ヒマシテ藥局ノ開設ニ付キマシテハ設備其ノ他ノ點ニ付テハ固ヨリ、分布ノ狀況等ヲモ考慮シマシテ、許可ヲスルト云フコトニ致シタ次第デアリマス、ソレカラ藥局ノ開設者ニ付キマシテハ先程申シマシタ如ク原則トシテ藥劑師ニ之ヲ限定シテ居リマスル結果、經營ノ狀態ガ往々ニシテ實情ニ即シナイ、極メテ不自然ナルコトヲ餘儀ナクセラレル場合ガアリマスノミナラズ、是ハ藥局ノ分布ノ適正乃至設備ノ完備ヲ圖リ、其ノ發達ヲ期スル上ニ必ズシモ適當ナ行キ方デハナイト考ヘラレルノデアリマス、且又其ノ管理ニ付テ藥劑師ヲシテ行ハシメルコトニ致シマスルナラバ、必ズシモ開設者ヲ藥劑師ニ限定スル保健衛生上ノ必

要モナイト考ヘラレマスルノゾ、之ヲ藥劑師ニ限定致サナイコトニ致シタ次第デアリマス、第十五條ハ現行法ノ通りデアリマス、第十六條ハ大體現行法ノ通りデアリマスガ、新タニ但書ノ規定ヲ設ケマシタ、此ノ趣旨ハ、藥劑師ガ藥局以外ノ場所デ調劑ヲナスコトヲ從來ハ禁止致シテ居リマスル結果、譬ヘテ申シマスルト病院、診療所ノ調劑所等ニ於テ藥劑師ガ調劑ヲスルコトガ、此ノ規定ニ或ハ低觸スルノデハナイカト云フ風ナ疑ヒモゴザイマシタシ、又巡回診療ト云フヤウナ場合ニ於ケル藥劑師ノ場合ニ於キマシテ、藥劑師ノ調劑ガ出來ナイノデハナイカト云フヤウナコトニモナリマスルノゾ、特定ノ場合ヲ限リマシテ藥局外ニ於テ調劑ヲスルコトヲ認メルノガ實情ニ適スルト考ヘマシテ、斯様ナ但書ヲ設ケタノデアリマス、第十七條、第十八條及ビ第十九條ハ大體現行法ノ通りデアリマス、第二十條ハ新シク設ケタ規定デアリマシテ、調劑報酬ニ付キ主務大臣ハ必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得ルト云フノデアリマス、醫療費ノ適正ヲ期シマスルコトハ、國民保健上最モ大切ナコトト存ズルノデアリマシテ、醫師ノ受クベキ醫療報酬ニ付キマシテハ、曩ニ制定セラレマシタ國民醫療法ニ於テ主務大臣ガ必要ナ措置ヲ講ジ得ル途ヲ開キ、其ノ適正ヲ圖ルコトト致シタノデアリマスガ、醫療費ノ一部タル調劑報酬ニ關シマシテモ、從來區々ニ互リ、又ハ適正ヲ缺クモノガ無キニシモアラザルヤウニ考ヘラレマスルノゾ、之ヲ適正ナラシムル爲ニ斯様ナ規定ヲ設ケタ次第デアリマス、

次ニ第二十一條デアリマス、調劑ニ付キマシテハ現行藥劑師法ニ色々ナ規定ガアルノデアリマスルガ、大體同様ナ趣旨ヲ規定スル積リデハゴザイマスガ、中々細目ニ互リマスノゾ、之ヲ命令ニ讓ルコトト致シタノデアリマス

次ハ第五章ノ醫藥品デアリマス、第二十二條ハ醫藥品ノ製造ニ關スル規定デゴザイマス、此處デ御說明申上ゲテ置キタイト思ヒマスルコトハ、現在醫藥品ニハ法制上藥品ト賣藥ノ區別ガアリ、藥品ニ付キマシテハ藥品營業法ニ藥品取扱規則、賣藥ニ付キマシテハ賣藥法ノ規定ガアルノデアリマス、而シテ藥品ノ中、日本藥局方收載藥品、外國藥局方收載藥品、新藥新製劑ニ付キマシテハ、又ソレムノ規定ガアリ、法規上別箇ノ取扱ヒトナツテ居ルノデアリマス、併シナガラ新藥新製劑ト賣藥トノ關係ニ付キマシテハ、先程御說明ノゴザイマシタ如ク、實際問題トシテ兩者ヲ劃然ト區別スルト云フコトハ洵ニ困難デアリマシテ、殆ド同種同類ノモノガ、或ハ賣藥トナリ、或ハ新藥新製劑トナル等、徒ラニ取扱ガ煩瑣デアリマスルノミナラズ、後ニ申上ゲマス如ク、新藥新製劑ニ付テ許可制ヲ採ルコトト致シマスル以上ハ、賣藥ト新藥新製劑トノ間ニ區別ヲ設ケルト云フコトハ、事實上殆ド意味ノナイコトトナルノデアリマス、隨ヒマシテ今回ノ立法ニ當リマシテハ、是等ノ法制上ノ區別ヲ撤廢致シマシテ、等シク日本藥局方外ノ醫藥品トシテ取扱フコトト致シテ行キタイト考ヘルノデアリマス、醫藥品ノ製造ニ關シマシテハ現在ノ如キ藥事法令ニ於キマシテハ、藥品ト賣藥ニ依ツテ其ノ取扱ヲ異ニシテ居リマシテ、藥品ニ付キマシテハ藥劑師ハ許可等ノ手續ヲ要セズ自由ニ作レルコトニナツテ居ルノデアリマ

ス、其ノ他ノモノハ地方廳製藥者ノ免許鑑札ヲ受ケルコトヲ要シ、而シテ製藥者トナリマスレバ、如何ナル藥品ヲモ製造スルコトガ出來ルノデアリマス、尙ホ麻藥ヤ毒苗、血清、其ノ他細菌學的豫防治療品又ハ新藥新製劑ノ如ク特殊ノモノニ付キマシテハ、更ニ特別ノ許可、認可等ヲ受ケ、或ハ又届出ヲナスコトヲ要スルノデアリマス、次ニ賣藥ニ付キマシテハ賣藥法ニ依ツテ原則トシテ藥劑師、藥劑師ヲ使用スル者、或ハ醫師及ビ齒科醫師ニ限ツテ調劑ノ資格ガアルノデアリマス、賣藥ヲ調劑セントスル品目ニ付キマシテ地方長官ノ免許ヲ受ケルコトヲ要スルノデアリマス、尙又右申述ベマシタ藥事法令ニ依リマスル外、現在ハ國家總動員法ニ基ク企業許可令ニ基キマシテ、藥品ノ製造業ハ厚生大臣ノ許可ヲ要スルコトトナリ、又緊要ナル約百三十品目ノ醫藥品ニ付キマシテハ、醫藥品及ビ衛生材料生産配給統制規則ニ依リマシテ、品目毎ニ厚生大臣ノ許可ヲ受ケルコトヲ要スルコトニナツテ居リマス、斯様ニ醫藥品ノ製造ニ關スル手續ハ今日極メテ錯綜複雜洵ニ煩瑣ニ堪ヘナイヤウナ狀況ニナツテ居ルノデアリマス、即チ醫藥品ノ製造ニ付キマシテハ、現在ノ藥事制度ニ於キマシテハ、ドテラカト言ヘバ取締ノ見地カラ之ヲ見テ居ルノデアリマシテ、或ハ人的部面ニノミ主眼ヲ置キ、或ハ物自體ニノミ主眼ヲ置キ、人的要素及ビ物的要素ノ綜合體トシテノ事業、或ハ國ノ醫藥品生産全體トノ關係ニ付テ、綜合的ニ把握考慮スルニ適シテ居ラナイヤウニ考ヘラレルノデアリマス、隨ヒマシテ現行制度ハ醫藥品供給ノ適正ヲ期スルノニ洵ニ不十分デアルト申サネバナライノデアリマス、ソコデ

今回現行法令ニ於ケル各種ノ免許、許可、認可等ノ手續ヲ綜合一致シマシテ、製造事業自體ニ着眼シテノ厚生大臣ノ許可制トシ、且ツ許可ニ當リマシテハ全體ノ生産トノ關係、製造品目、製造施設等ニ付テ檢討ヲ加ヘマシテ、醫藥品供給ノ適正ヲ期スル上ニ遺憾ノナイヤウニ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

次ニ先程一寸觸レタ新藥新製劑デアリマスガ、從來新藥新製劑ノ新規發賣ニ付テハ地方長官ニ届出ヲスレバ宜シイト云フコトニナツテ居ツタノデアリマス、サウシテ毎年度出ニ係ヘル新藥新製劑ハ極メテ多數ニ上ツテ居リマシテ、年々約三千ニ上ツテ居ルト云フ狀況デアリマス、其ノ中ニハ品質效能上必ズシモ適當ト認メラレナイモノモゴザイマスルシ、又謂ハバ不急ノ品ト思ハレルヤウナモノモ少クナイ狀況デアリマス、又名前ガ違ツテ居リマシテモ、實際ハ大差ナイト云フヤウナ藥モ相當多數ニ上ツテ居リマシテ、徒ラニ煩雜ヲ加ヘ、緊要醫藥品ヲ確保ヲ圖リ、其ノ供給ノ適正ヲ期スルニ當リ相當支障ヲナシテ居ルヤウナ狀況デアリマスノデ、今回ハ新藥新製劑ニ付キマシテモ許可ヲ受ケシメルト云フコトニ致シタノデアリマス、ソレカラ第二項ニ於キマシテハ、醫藥品製造業者ハ原則トシテ藥劑師ヲ置カナケレバナラナイト云フ風ニ致シマシタ、之ニ依リマシテ醫藥品ノ性狀品質ノ適正ヲ期スルト云フ考ヘデアリマス、而シテ其ノ例外ト致シマシテ、但書ノ規定ニ於テハドウ云フ風ナ場合ヲ考ヘテ居ルカト申シマスルト、例ヘバ醫藥品ノ製造業者自身ガ藥劑師デアリマスル場合、或ハ又醫藥品ノ製造ニ付キマシテ必要ナ知識、技能

ヲ有スルト主務大臣ガ認メテ居リマスル場合ニ於テ、ソレ等ノ者ガ自ら製造ニ當ルト云フヤウナ場合ハ必ズシモ藥劑師ヲ置ク必要ガナイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、又痘苗血清其ノ他細菌學的豫防治療品ニ付キマシテハ、大體從來醫師ガ其ノ製造ノ實際ニ當ツテ居ルノデアリマス、斯様ナ場合ニ於キマシテモ勿論藥劑師ヲ置ク必要ハナイト云フ風ニ考ヘテ宜シカラウト思フノデアリマス、第三項及ビ第四項ニ付キマシテハ特ニ申上ゲル必要モナイカト思フノデアリマス、次ハ第二十三條デアリマス、是ハ醫藥品ノ販賣ニ關シマシテハ、現在ノ藥事法令ニ於キマシテハ藥品ト賣藥トニ依リマシテ其ノ取扱ヲ異ニ致シテ居リマス、藥品ニ付キマシテハ藥劑師ハ許可等ノ手續ヲ要セズ、其ノ他ノ者ハ地方廳ノ藥種商ノ免許鑑札ヲ受ケルコトヲ要スルノデアリマス、又賣藥ノ請賣ニ付キマシテハ、藥劑師又ハ藥種商ハ地方長官ニ届出ヲナスヲ以テ足り、其ノ他ノ者ハ地方長官ノ許可ヲ受ケルコトヲ要スルコトニナツ

テ居ルノデアリマス、尙ホ只今ハ右ノ藥事法令ニ依リマスモノノ外ニ、企業許可令ニ依リマシテ總テ地方長官ノ許可ヲ受ケルコトヲ要スルコトニナツテ居リマス、斯様ニ醫藥品ノ販賣ニ關スル手續ハ現在藥品ト賣藥、又藥劑師ト然ラザル者トニ依リマシテ適用法令ガ違ツテ居リマシテ、相當煩雜ニナツテ居ル狀況デアリマス、醫藥品ノ適正、圓滑ナル配給ヲ圖リマスコトハ極メテ重要ナコトデアリマス、是ガ爲ニハ販賣者ノ資質ノ適否ノミナラズ、店舗ノ分布狀況等ヲモ十分考慮スル必要ガアルノデアリマスカラ、藥劑師ト然ラザル者タルト問ハズ醫藥品

販賣業ヲ行フ者ハ齊シク許可ヲ受ケシムルコトヲ適當ト考ヘマシテ、此ノ規定ヲ設ケマシタ次第デアリマス
其ノ但書ニ於キマシテハ例ヘバ醫藥品ノ製造業者、輸入販賣業者又ハ移入販賣業者ガ其ノ製造又ハ輸入、移入致シマシタ醫藥品ヲ製造業者又ハ販賣業者ニ販賣スル場合デアリマスルトカ、或ハ又藥局ノ開設者ガ藥局ノ開設ニ際シマシテ、其ノ藥局ノアル場所ニ於キマシテ醫藥品ヲ販賣スルト云フヤウナ許可ヲ併セテ受ケマシタヤウナ場合トカ、斯様ナ場合ヲ大體豫想シテ居リマ

ス次第デアリマス、ソレカラ第二項ニ付テ申上ゲマス、現在ハ藥品營業並ニ藥品取扱規則ニ依リマシテ、藥劑師デナケレバ藥品營業者以外ノ者ニ對シ原則トシテ指定藥品ヲ販賣授與スルコトガ出來ナイコトニナツテ居リマス、又賣藥請賣業者ハ藥品ヲ販賣スルコトガ出來ナイモノトナツテ居リマス、此ノ指定藥品ト申シマスルノハ、全體ノ醫藥品ノ中デ百四十二品目及ビ指定藥品ヲ含有スル製劑デアリマシテ、毒藥又ハ劇藥ニ屬スルモノト云フコトニナツテ居リマス、藥品ハ其ノ性質上是ガ取扱ニ付キマシテハ、特殊ノ知識經驗ヲ必要トスルモノガ少クナイノデアリマス、隨テ廣ク醫藥品一般ノ販賣ヲナスニ付キマシテハ、藥學、藥品ニ關シマシテ專門ノ知識ヲ有スル藥劑師、又ハ藥劑師ヲ使用スル者ヲシテ之ニ當ラシメルコトガ萬全ノ策デアルト考ヘルノデアリマス、併シナガラ一面ニ於キマシテ醫藥品ノ消費者タル國民ノ便益ト云フコトヲ考ヘテ參リマス、其ノ販賣業者ハ廣ク適正ニ分布セラレルトコトガ必要デアルト云フコトモ亦申上ゲルマデモナイコトト存ズルノデア

リマス、現在ノ狀況ニ於キマシテハ醫藥品ノ販賣業者ヲ藥劑師又ハ藥劑師ヲ使用スル者ニ限ルト云フコトハ、實際問題トシテ頗ル困難ト申サナケレバナラナイノデアリマス、ノミナラズ醫藥品ノ種類ニ依リマシテハ、必ズシモソレ程高度ノ專門ノ知識ヲ必要トスルモノガナイノデアリマシテ、藥劑師又ハ藥劑師ヲ使用シナイ者ニ對シマシテモ、取扱フべき品目ヲ制限シマシテ、醫藥品ノ販賣業ヲ行フコトヲ認メルコトガ適當デア

ルト考ヘルノデアリマス、隨ヒマシテ醫藥品中ニ現在ノ指定藥品ノ如ク其ノ性質作用ガ特ニ猛毒又ハ變敗シ易イ爲ニ、其ノ取扱ニ付キマシテ細心ノ注意ヲ要シ、特ニ藥學及ビ醫藥品ノ鑑別等ニ關シマシテ、專門ノ知識經驗ヲ有スル者ヲシテ取扱ハシメマシテ、其ノ販賣授與ノ際ニ細心ノ注意ノ下ニ之ヲ交付セシメルコトヲ必要トスルモノニ付キマシテハ、從來ト同様ニ藥劑師又ハ藥劑師ヲ使用スル販賣業者ニ限ルコトト致シマシテ、然ラザル者ニ付キマシテハ、其ノ程度ニ應ジ取扱品目ヲ制限致シマシテ販賣ヲセシメルノガ適當ト考ヘルノデアリマス、大體ノ考ヘ方ト致シマシテハ從來ノ藥種商ニ相當スル程度ノ人達ニ對シマシテハ、只今申シマシク指定藥品ニ相當スルモノノ以外ノ醫藥品ニ付キマシテ、一般ニ取扱ハシメテ差支ヘナイノデハナイカト、斯様ニ考ヘテ居リマス、又從來ノ賣藥請賣業ヲヤツテ居リマスヤウナ人達ニ對シマシテハ、ヤハリ其ノ程度ノ藥ヲ取扱ハサセルコトニシタナラバドウデアアラウカト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、尙第三項デアリマ

目ノ事項ヲ規定スル必要ガアルノデアリマスガ、是等ハ大體ニ於テハ現行法ヲ踏襲スル考ヘデゴザイマシテ、何レモ命令ニ讓ルコトト致シテ居ル次第デアリマス、次ニ第二十四條ハ新タニ設ケマシタ規定デゴザイマス、醫藥品ハ國民保健ノ上ニ極メテ重要ナ關係ヲ持ツテ居リマス關係上、其ノ價格ノ點ニ付キマシテモ、常ニ是ガ適正ヲ期セナケレバナラヌト云フコトハ申スマデモナイノデアリマス、ソコデ此ノ規定ヲ設ケテ次第デゴザイマス、唯茲テ御斷リ申シテ置キタイト思ヒマスコトハ、現在醫藥品ノ價格ニ付キマシテハ、國家總動員法ニ基ク價格等統制令ノ適用ガアルノデゴザイマスガ、差當ツテノ問題ト致シマシテハ、一般物價トノ關係モゴザイマスシ、他ノ物資ト同様ニ統制令ニ依リ措置シ得ベキ事項ニ付キマシテハ、其ノ運用ニ依ツテヤツテ參リタイト考ヘテ居リマスノデ、大體ニ於テ當分ノ内此ノ二十四條ノ規定ヲ發動スルト云フ考ヘハ致シテ居ラナイノデゴザイマス、第二十五條ノ規定ハ特ニ申上ケル必要モナイト存ジマス、ソレカラ第二十六條ノ第一項ハ大體從來通りデゴザイマス、第二項ハ新タニ設ケタ規定デゴザイマス、此ノ第二項ニ基キマスル命令デゴザイマスガ、只今考ヘテ居リマスル事項ハ、保健衛生上特ニ必要ガアルト認メマスル醫藥品ニ付キマシテ、特定ノ機關ノ検査ヲ受ケシメルトカ、或ハ又一定ノ規格ヲ設ケテ之ニ從ハシメルト云フヤウナコトヲ規定シタイト、斯様ナ考ヘテ致シテ居ル次第デアリマス、ソレカラ第二十七條デアリマスガ、先ヅ第一項ハ醫藥品ニ付キマシテ内容ノ公示ヲサセヨウト云フ考ヘデ出來テ居ルノデゴザイマス、即チ日

本藥局方收載藥品ニ付テハ、其ノ實質ヲ一目瞭然タラシメ、取扱上差支ノナイヤウニ致シマスト共ニ、其ノ純良ヲ保持スル爲ニハ日本藥局方ト云フ文字及ビ日本藥局方名ヲ記載セシメルコトヲ必要ト認メマシテ、此ノヤウニ規定致シタノデアリマス、又日本藥局方外ノ醫藥品ニ付テハ、現在ハ新藥新製劑及ビ花柳病ニ關スル賣藥ニ付テ内容ノ公示ヲ致サセテ居ルノデアリマスガ、醫藥品ノ成分等ヲ公示セシメルコトハ、其ノ内容ヲ明カナラシメマスト共ニ、醫藥品相互ノ異動或ハ代用關係ト申シマスカ、代替關係ヲ明瞭ニ致シマスシ、醫師其ノ他ノ使用者及ビ取扱業者ヲシテ、醫藥品ノ撰擇又ハ使用ヲ適正ナラシメマスト共ニ、配給ノ圓滑及ビ品質ノ確保ヲ期スル上ニ於テ必要ト考ヘラレマスノデ、極ク特別ノ場合ヲ除キ、原則トシテ内容ノ公示ヲ行ハシメルコトト致シタノデアリマス、尙ホ第二項ニ於キマシテハ、從來醫藥品ノ小分ケニ付キマシテハ現在何等ノ規定ガナイノデアリマシテ、不都合ガ少クアリマセシ、又貯藏ノ方法、其ノ他取扱ニ關シマシテハ、醫藥品ノ特殊性ニ鑑ミマシテ、詳細ニ規定スル必要ガアルノデゴザイマスガ、事柄ガ細目ニ互リマスノデ、是等ヲ命令ニ讓ルコトト致シタ次第デアリマス、次ニ二十八條ノ廣告制限ニ關スル規定デゴザイマス、廣告制限ニ付キマシテハ、現在ハ賣藥法ニ規定ガアルバカリデアリマスガ、御承知ノ如ク新藥新製劑等ニ付キマシテハ、其ノ必要ナルコトハ賣藥ト選ブ所ガナイ實情ニアルノデアリマシテ、今回ハ醫藥品全般ニ付キ廣告制限ヲ設ケ、其ノ適正ヲ期スルコトト致シタ次第デアリマス、第二十九條ニ付キマシテハ、

大體ニ於テ現行法ヲ踏襲シテ規定ヲ致ス積リデアリマシテ、格別御説明ヲ申上ケル必要モナイカト存ジマス

第六章ハ監督ニ關スル事項デゴザイマス、第三十條ハ新タニ設ケタ規定デゴザイマス、此ノ趣旨ト致シマスル所ハ主務大臣又ハ地方長官ガ監督官廳トシテ、單ニ權力ヲ以テ之ニ臨ムノデナク、藥ノ製造販賣其ノ他各般ノ事項ニ關シマシテ、其ノ適正ヲ期スル爲ニ常ニ指導誘掖ヲ加ヘテ、進歩發達ヲ圖ツテ參リタイト云フノデアリマシテ、主トシテ指導誘掖ノ趣旨ニ出タモノデアリマスカラ、罰則ハ伴ツテ居リマセシ、罰則ノナイ規定デアリマスルガ、關係者ノ協力ニ依ツテ、十分其ノ目的ヲ達シ得ルモノト考ヘテ居ル次第デアリマス、第三十一條ハ大體現行法ノ通りデアリマス、第三十二條モ報告ヲ徴シ得ルコトノ外、大體現行法ニソレゾレ規定ガアルノデアリマス、第三十三條モ大體現行法ニ規定ガアルノデアリマシテ、特ニ御説明申上ケルコトモナイト思ヒマス、第三十四條ハ新タナル規定デアリマス、醫藥品ノ製造業者、輸入販賣業者、移入販賣業者、販賣業者或ハ又藥局開設者ト云フヤウナモノハ醫藥品ノ供給ニ關シマシテ、極メテ重要ナル地位ニ立ツ者デアリマシテ、特ニ許可ヲ受ケテソレノ業務ニ從事シテ居ルノデアリマスカラ、其ノ許可ヲ受ケマシタ以上ハ、ソレノ職域ニ於テ一生懸命ニ働イテ貫ハナケレバナラヌト考ヘル次第デアリマス、ソレガ何ト申シマスカ、謂ハバ權利ノ上ニ眠ルト申シマスカ、職責ヲ怠ルト云フヤウナ者ガアリマシテハ、其ノ使命ニ鑑ミマシテ、洵ニ遺憾ト存ゼラレマスノデ、正當ノ事由ナクシテ、其ノ業務

ヲ行ハナイト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、許可ノ取消ガ出來ルト云フ規定ヲ設ケマシタ次第デアリマス

次ハ雜則デアリマス、第三十五條ハ地方廳ニ對スル職權委任ノ規定デアリマス、第三十六條ハ、樺太ノ内地移管ニ伴ヒ設ケタ規定デアリマス、從來樺太ハ法域ヲ異ニ致シテ居リマシタ關係上、藥劑師法其ノ他ノ施行ニ付キマシテモ、若干内地トノ差異ガアツタノデアリマシテ、ソコラノ關係ヲ如何ニ致スカ、勅令ヲ以テ特例ヲ開キ得ルヤウニ致シテ居ル次第デアリマシテ、是ハ大體他ノ一般ノ措置ト睨合ハセマシテ、適當ニ善處致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

次ニ罰則ノ規定デゴザイマスルガ、此ノ中第三十七條、第三十九條、第四十條、第四十一條、是等ヲ一括シテ大凡ソノ趣旨ダケ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、第一ニ麻藥ニ關スル違反ノ行爲ニ付キ刑ヲ加重致シマシタ、ソレハ今後共榮園内ノ交通ノ頻繁化ヲ豫想セララルルニ當リマシテ、一層麻藥ニ關スル取締ノ徹底ヲ期スルノ必要ガアルト考ヘマスシ、又阿片法トノ權衡モ考慮致シタノデアリマス、ソレカラ醫藥品ノ製造輸入販賣又ハ移入販賣ハ、醫藥品供給ノ根源ヲナスモノデアリマシテ、是ガ適正ヲ圖ルノ必要ガ特ニアルト考ヘラレマスノデ、之ニ關シ刑ヲ加重致シタノデアリマス、ソレカラ罰金刑ニ付キマシテハ、藥品營業並ニ藥品取扱規則ノ如キ、議會開設前ノ法律モアリ、久シイ間ノ時勢ノ推移ニ伴フ貨幣價值ノ變動等モアリマシテ、今日ノ場合トシテ餘リニ低キニ失スルト云フコトモ考ヘラレマスルカラ、ソレ等ノモノニ付キマシテハ他トノ權衡ヲ考慮致シマシテ、改正致

シタノデアリマス、次ニ第三十八條ハ官吏ノ秘密嚴守ノ義務ニ關スル罰則デアリマス、ソレカラ第四十二條、第四十三條、第四十四條ハ大體一般ノ例ニ從ヒマシタダケデ、特ニ御説明申上ダレル必要モナイト存ジマス

次ニ附則ニ付テ申上ダマス、第四十五條、第四十六條ニ付テハ格別申上ダレル必要ハナイト思ヒマス、ソレカラ第四十七條ハ醫師、齒科醫師又ハ獸醫師ノ調劑ニ關スル規定デアリマス、是ハ報告ヲ徵シ得ルノ規定ノ外、大體從來カラアル規定デアリマシテ、從前同様之ヲ附則ニ規定致シテ居ル次第デアリマス、ソレカラ第四十八條、第四十九條、第五十條、第五十一條、何レモ經過的規定デアリマシテ、特ニ申上ダレル必要モナイト思ヒマス、ソレカラ第五十二條ハ藥劑師法ニ依ル道府縣藥劑師會及ビ日本藥劑師會ノ權利義務ヲ此ノ法律ニ依ツテ設立セラ

ルベキ道府縣藥劑師會及ビ日本藥劑師會ガソレノ之ヲ承繼スルト云フ規定デアリマス第五十三條ハ從來ノ藥局ニ付テ、又第五十四條ハ醫藥品ノ製造業者、輸入販賣業者、移入販賣業者及ビ販賣業者ニ付テノ經過的規定デアリマス、即チ從來ノ例ヘバ藥局開設者、藥種商、製藥者、賣藥業者或ハ賣藥請賣業者ト云フヤウナ者デ、此ノ法律施行ノ際現ニ製造販賣等其ノ業務ニ從事シテ居リマスモノハ、其ノ仕事ニ付キマシテハ此ノ法律ニ依ツテソレノ製造ナリ、或ハ販賣ナリノ許可ヲ受ケタモノト看做サレテ居ルデアリマス、ソレカラ第五十五條、是モ大變細カニ規定デアリマスガ、醫藥品ノ容器又ハ被包ニ記載スベキ事項ニ付キマシテハ、現ニアル醫藥品ニ付テ、直チニ此ノ法律ニ依ツテ措置セシメマスルコトハ、

實情ニ即シマセシ、關係業者ニ徒ラニ難キヲ強ヒルト云フヤウナ結果ニモナルカト考ヘマスノデ、二箇年程ノ猶豫期間ヲ置クコトト致シタノデアリマス、第五十六條、之ニ付キマシテハ特ニ申上ダレル必要ハナイト思ヒマス、ソレカラ第五十七條、是ハ花柳病豫防法ニ、先程一寸申上ダマシタガ、賣藥ノ内容公示ニ關スル規定ガアリマスガ、今回ハコチラノ方ニ取入レマシタノデ、削除スルコトニ致シタノデアリマス、ソレカラ第五十八條、第五十九條ハ本法ノ制定ニ伴ヒマシテ、他ノ法律ノ中ニアリマス字句ヲ調整致シタニ過ギマセスカラ、特ニ申上ダレル必要モナイト存ジマス

○清水委員長 大臣ノ藥事法案外二件、政府委員ノ藥事法案ニ對スル御説明ハ終リマシタ、何か此ノ際參考資料ノ御要求ヲナサル諸君ハ御申出ヲ願ヒマス

○谷原委員 此ノ藥事法案ヲ拜見シマスルト、大變委任立法ガ多イヤウデアリマスルガ、其ノ委任立法下シテ豫定セラレテ居リマスル内容ヲ書面ヲ以テ此ノ委員會ヘ御配付ヲ願ヒタイノデアリマス、吾々審議ヲ致シマスル上ハ、無條件委任ハ到底出來得ベキコトデアリマセスカラ、如何ナル權利義務、或ハ其ノ他要項ノコトヲ委任スルノデアリマスルカハ精々詳シク書面ヲ以テ御配付ヲ願ヒタイト思ヒマス

○上田委員 參考資料ノ要求ヲ致シマス、尙ホ細カニ書イテ出シマスケレドモ、一應讀上ダマス

一、藥劑師、藥種商、賣藥請賣業者ノ全國分布狀況及ビ其ノ數、特ニ都市ト地方トノ比較

一、藥劑師ト藥種商トノ最近三箇年間醫藥品(新藥、新製劑ヲモ含ム)ノ取扱販賣金額

一、藥劑師ト藥種商トノ最近三箇年間ノ各府縣別藥律違反ノ數

一、藥劑師ノ開局者數及ビ藥種商ニシテ藥劑師ヲ使用セル者ノ數

一、藥劑師ノ最近過去五箇年間ノ増加數及ビ今後五箇年間ノ増加見込數

一、藥種商ニシテ指定藥品ヲ既得權トシテ取扱ヒ居ル者ノ現在數

一、土地ノ狀況ニ依リ地方長官ニ於テ指定藥品ノ販賣授與ヲ許可セル者ノ數

是ダケノ參考資料ヲ要求致シマス

○大島委員 參考資料トシテ、昭和十六年、十七年ノ二箇年ニ互ル道府縣ニ對スル配給デスガ、現在統制サレテ居ル統制藥品ノ金額ハドノ位ニ各道府縣ニ分配サレテ居ルカ、是ハ無論金額ダケデ宜シウゴザイマス、ソレカラ其ノ道府縣ニ於ケル分配方法ハ醫療用ト一般用ニドウ云フ工合ニ配給サレテ居リマスルカ、具體的ニ申シマスレバ、東京市ハ四割ガ醫療用ニ向ケラレテ六割ハ一般用ニ向ケラレテ居ル、又靜岡縣ハ全ク反對ニ六割ガ醫療用ニ向ケラレテ四割ガ一般用ニ向ケラレテ居ルト云フコトヲ聞キマシタガ、是モ金額ガ分レバ自然「パーセント」モ分ルコトデアリマスカラ、其ノ「パーセント」ナリ、或ハ金額ナリデ宜シウゴザイマスガ、極ク大摺ミノ所デ宜シウゴザイマスカラ、是ガ各道府縣ニ於ケル配給ノ分布ヲ知リタイノデアリマス、モウ一ツ參考資料トシテ要求シタイノハ「ガゼ」ヤ脱脂綿ヤ綿帶、是ハ三、四年前ニ統制サレタカト思ヒマスガ、兎ニ角統制サレタ以前ト統制後トドノ位ノ金額ガ各道府縣ニ配給サレテ居リ

マスカ、是ガ増ナリ減ナリ、極ク大體ヲ知リタイノデアリマスカラ、増減ノ歩合ヲ提出シテ貰ヒタイト思フノデアリマス、此ノ二ツヲ要求致シマス

○山崎(常)委員 船員保險法ノ問題ニ付キマシテ、最近ノ船員ノ傷害死亡ノ統計、健康狀態モ含メテ戴ケバ結構デアリマス、ソレカラ軍事保護院デヤツテ居リマス所ノ軍事保護事業ノ種別、ソレカラ仕事ニ從事シテ居ル男女及ビ年齡別、仕事ノ種別、斯ウ云フヤウナ統計ヲ戴キタイノデアリマス

○清水委員長 藤生君ヨリ委員長長ノ手許マデ資料要求ノ書類ガ參ツテ居リマス、之ヲ讀上ダマス

一、舊大日本武德會ノ幹部名

一、大日本武德會京都出張所ノ役員名

一、新武德會ノ收支一覽表

一、東京高等師範學校、東京高等體育學校、京都武德專門學校、國土館等各學校要覽

一、大日本武德會、大日本體育會ノ各包攝團體名